

**授業概要**

「インド独立の父」として知られる M.K.ガンディの著作の中から、日本語に翻訳されている資料を読む。まず、インドとイギリスの歴史、ガンディの生きた時代、思想について講義する。その後、各自が資料を読みながら、歴史を読む視点、史料の信憑性や性格についての批判的態度を習得できるよう指導する。

**授業計画**

第1回	ガンディと『ヒンドゥー・スワラージ』
第2回	インドとイギリスの関係史
第3回	東インド会社統治時代
第4回	ナショナリズムの萌芽
第5回	第1章、第2章
第6回	第3章、第4章
第7回	第5章、第6章
第8回	第7章、第8章
第9回	第9章、第10章
第10回	第11章、第12章
第11回	第13章、第14章
第12回	第15章、第16章
第13回	第17章
第14回	第18章、第19章
第15回	第20章、まとめ
第16回	学期末レポート

**到達目標**

- ① 歴史的背景にたずねて、著者の訴えていることが理解できる。
- ② 資料の書かれた時代、著者のおいたちなどを総合的に判断して、資料の歴史的意義が理解できる。

**履修上の注意**

毎回、資料を読み、課題レポートを提出した上で、授業に参加すること。

**予習・復習**

授業計画にそって、あらかじめ資料を読み要約し、課題の調査事項をレポートにまとめて提出してもらいます。授業後は、プリント、参考文献を読み理解を深めてください。

**評価方法**

毎回のレポート 80%、学期末レポート 20%

**テキスト**

M. K. Gandhi, "Hind Swaraj" 『ヒンド・スワラージ（真の独立への道）』岩波文庫、2004年。  
当方で用意する。参考文献は適宜紹介する。